

「中小企業経営強化研究会」の活動 (リーダー金子壽光)

「中小企業経営強化研究会」は、会員相互研修をすることで事業戦略策定支援、計画実行支援等の質的向上を図ることを目的として発足しました。

中小企業・小規模企業白書(2018,2019年版)は、中小・小規模事業者にとって人手不足のため経営者(社長)に業務が集中し、業務の見直しやIT利活用等を進めることで経営者の業務効率化が急務の課題であると指摘しています。

デジタル化社会では、IoT・AIを活用した生産性向上の取組み等の戦略立案支援が重要で、支援機関による伴走型支援で中小・小規模事業者が必要とする施策をスムーズに届けることが必要です。

会員相互研修の具体的方策は、研究会事務局で毎回メインテーマを決めて、NPO会員が調査・考察・論点をまとめ、討論会方式(名称:NPO討論会)でナビゲーター3~5名が講演し、多数の参加者で活発な討議を行なっています。

近年、当NPOクラブ受託事業の内、事業強化支援が増加傾向にあるので時代変化に対応したテーマを取り上げ、会員の研鑽に取り組んでいます。

第1回NPOクラブ討論会は、2019年3月から開始しました。メインテーマと参加者数は下記の通りです。引き続き新年度は5月から始める予定です。

記

第1回討論会(2019年3月26日):SDGsの環境・社会・経済面の経営への取組み(35名)

第2回討論会(4月16日):事業戦略策定支援、計画実行支援の事例検討会(53名)

第3回討論会(5月30日):社会環境変化、技術革新に対応したビジネスモデル変革(42名)

第4回討論会(8月1日):最近のヘルスケア関連事業におけるビジネスモデル変革(47名)

第5回討論会(9月30日):PRシートからビジネスモデルの見える化(38名)

第6回討論会(2020年1月27日):通信網進化に伴う中小企業でのAI等の活用(46名)